

夢を形に 起業へ一歩

「えひめベンチャー」卒塾式

優秀プラン4点も披露



ビジネスプランの表彰式などがあった
えひめベンチャー起業塾の卒塾式

—24日夜、松山大

学生や社会人が起業に関してのアイデアや、時代に合わせたノウハウを学ぶ「えひめベンチャー起業塾」の卒塾式が24日夜、松山市文京町の松山大で開かれ、優秀なビジネスプランの発表などがあった。

起業塾の開催は8年目。

今回は県内在住の社会人や大学生ら43人が受講し、起業アイデアの考え方や、ア

プリケーションを生かした事業の構築、リモートが発達した現代でのプレゼンテーションなど昨年10月から15回にわたり実施。最終的に個人やグループで展開したい事業のビジネスプランを作成する。会場はサテライト会場を新しく新居浜市内に設置した。

卒塾式では提出されたビジネスプラン優秀作品4点

の表彰があり、受賞者が発表。最優秀となった県内の社会人女性3人でつくるグループは、出産直後の母親の家事を、約1カ月程度育児経験者が担う育児代行業務を提案。出産で家事が増大する母親のストレスや家族の負担軽減、女性の社会参加推進に役立ち、人口流出低下などにも効果があるとした。受賞した宇和島市の自営業川口みどりさん(55)は「さまざまな考えや今の知識なども得て、起業への精度が上がった。参加して良かった」と話した。要件を満たした28人への卒塾証書授与もあった。

起業塾は県と松山大、えひめ産業振興財団が毎年開いており、県によると28人を加え184人が修了。10人以上が起業しているという。

(宇和上翼)